

楽園のろう学校 ● 山本絲人

聾と聴 Rou y Chou とは韻踏んで同じ世界を一緒に生きる

春の蚊が職員室にゐるやうだ刺されて春とまたなりにけり

春の蚊を聞こえる者は羽音で聞こえぬ者は軌跡で殺意

春といふ手話―秋といふ手話 二つ似てゐて今日はそんな一日

噂は何かと手指で問はれば答へを持たぬ両手ぶらさげ

失聴す 受け止めるまで必要な時間は春をいくつか過ぎて

途中から聞こえなくなることはあり両耳をふと触つてみる夜

途中から聞こえるやうになることは例へば冬の空のにはとり

聞こえない生徒の名前に使はれる「詞音」や「綾音」折りの漢字

補聴器の電池が切れてしばらくは立夏の中を替へにゆくなり

指文字の「ぬ」は〈盗つ人〉を表して手つきに年季入つてゐたり

もし好きな人が聞こえぬ人ならば爪を切りたる指で告白

指先を愛する人に捧げたら十指はあなたのために働く

【健聴者】差別を含む言葉だと知らぬ一年前の楽園

楽園に「音」はあつてもなくつても今日の小鳥が来たる楽園